

農業法人の雇用への取り組み紹介

—株式会社 永井農場—

○経営の概要

所在地	長野県東御市和8513-1
代表者氏名	代表取締役 永井 進 氏（39）
主な経営作物	稲作、酪農、露地野菜
年間売上げ	2億4千万円
従業員数	14人（役員4人、正社員12人）
法人設立	1996年4月
経営の特色	有機栽培、農産加工、直接販売



餅の切り分け作業を見守る永井社長(左)

○雇用の特徴

- ・正社員12人の年齢は、20～30代前半までと若い
- ・12人のうち10人が県外出身者
- ・求人媒体は、「新・農業人フェア」「自社のホームページ」などで地元採用にこだわらない

○従業員定着への取り組み

法人化から14年経過し、これまでに退職した従業員は10人で定着率は50%。近年は、離職する従業員も減り、定着率は年々上がっている。

その理由として

- ・法定に沿った労務管理 ⇒ 社会保険労務士と顧問契約
- ・OJT以外の人材育成 ⇒ コンサルティング会社と顧問契約
- ・年1回の定期昇給を制度化
- ・中心となる従業員が固まり、各種作業が組織化されてきた
- ・従業員を単純な労働力として扱わない
- ・従業員とのコミュニケーションを重視

○今後の課題

永井社長の理想とする組織は、下から問題提起されるようなボトムアップ型の組織。そのため、定期的に社内ミーティングを開いたり、自発的な行動を尊重したり、従業員が意見を言いやすい環境にするように心がけているが、まだ物足りない状況という。

「組織の土台が固まり始めた状態」と考える永井社長は、今後この中から経営感覚を共有できるような人物が出てくることを期待している。

◆事務局便り◆

今回ご紹介した永井農場へは、昨年12月にお邪魔し、永井社長や従業員の方から色々とお話を伺いました。地域のリーダーとなって6次産業化を進めている法人で、従業員の方がいきいきと働いている様子が印象的でした。「給与額が前職の半分になったけど、今の仕事の方が充実感がある」と話す人もいて、本当のやりがいについて考えさせられました。